

賀 正

報 東 白 川

社 行
報 報 報 報 報
東 白 川 村 公 民 館
今 井 印 刷 所



社 行
報 報 報 報 報
東 白 川 村 公 民 館
今 井 印 刷 所

明けましておめでとご
ごいいます。
こゝに昭和三十八年の新
春にあたり、皆さんには健
康で佳き歳を迎えられまし
たことを心からお慶び申上
げます。平素皆さんには住
みよい郷土建



年頭のことは 東白川村長 河田勘市

研究と努力の結晶の特筆大
書すべきでありましよう。
経営に、り年々増収の一途
を辿り、新しい茶園は山
野を開拓せり、新品種の増
産と共に名産白川茶は質と
量の上によつて漸次名声
が挙ることが約束されつゝ
あるのであります。
又本村農業に不離一体の
林業は山林面積全村の九十
パーセント余りを占めこれ
が本村経済の生命線でもあ
りまして、最近特に植栽撫
育管理に意が注がれ林業従
事者の業務も活潑となり従
つて製材木工業も隆昌を極
めてまいりましたことは誠
に慶びにたえます。これ
を扱われ業者各位も専心
本村農業発展に貢献せられ
環境に恵まれた立地条件を
活用して産業経済成長に協力
せられ、その成長率上昇に
より所得倍増に前進しつゝ
あり村民一体の生産性向上
に對する協力態勢こそ豊か
な村づくりの根幹であり感
謝にたえないところであり
ます。

かくの如くして産業経済
の上昇発展に對し緊要欠く
ことのできないものは資本
の蓄積であります。幸にし
て年末末白川農業協同組合
の貯金が一億円達成の實現
を見、従つて郵便貯金も増
大され皆さんの貯蓄精神の
向上と堅実なる計画経済の
努力することをお願にして
います。何といつても租税
は村の発展の基幹でありま
す。納税成績こそその村
のバロメーターであります
本村の納税成績は県下にお
ける最も優位の地を占め、
本村の良さを物語るもので
あります。また皆さんの財
産でもある村有林は先賢各
位が努力によつて遺された
偉大な財産であり又豊厚で
ありまして常に先輩の遺業
に感謝を捧げるものであり
ます。公共施設は何れもこ
の山林により生ずる収入を
充当しておりますが、村百
年の安泰と緊急事態に備え
出来得る限り山林資源の保
存を図り、分収造林事業の
充実に共に伐採跡地の整備
実行に最善の努力を払つて
いる次第でございます。

ますこのお正月、しかし私
共はこの機会ごとに過去の
顧み反省して、よき計画の
もとに新しい希望に輝く出
発としお正月を、層有賞獲
にしたいものであります。
およそ村の繁栄すゝ条件
にはいろいろあるでありま
しうが、まず産業経済の
向上と発展により豊かな村
づくりこそ第一義であると
信じます。有畜畜農業経営
を三本の柱とする本村農業
も特産のお茶を加え漸く軌
道に乗つてまいりましたこ
とは誠に同慶にたえます
ん。特に主食である米は史
上空前ともいふべき五千二
百五十余俵の政府売渡の完
了を見ましたことは、多年
農家の皆さんのたゆまざる

今や時代の進運につれて
産業経済の発展に教育文化
の振興に、保健衛生の向上
にと住民福祉の面にも幾多
の仕事が山積しております
常に公僕精神を忘れること
なく専心本村の発展に努力
せねばならないと存じます
幸にして村民の皆さんに
は住みよい郷土建設のため
一層のご精進とご協力を切
におねがいし、併せてご多
幸をお祈りいたしまして年
頭のことばといたします。

新春を迎えるにあたり

東白川村議会議長 桂川富次郎



災害のない豊穰の秋をつまがなくて、本村有史以来の産米の売渡しを終り、

こゝに昭和三十八年の新春を迎えるにあたりまして、村民の皆様方には希望に満ちた明るいお正月を一家お揃いでお迎えになりましたことを心から喜び申し上げます。

過ぎ去りました昨年をから喜び申し上げます。えり見ますれば、新農村建設の進展する見通しとなり、特

新春をかざる「出初式」

神土小学校々庭で挙行

新春恒例の東白川村消防「出初式」が一月七日神土小学校々庭において盛大に行なわれました。

この日は前日から降り続いた雪で校庭には十センチくらいの積雪がありました。その雪の中、消防自動車、可搬動力ポンプ十二台百八十名の消防団員がせいぞろいして消防大絵巻をくりひろげました。式は午前九時消防団音楽隊の演奏する君が代とともに日の丸が掲げられその幕が切つて落され、團長、村長の式辭が

が平用水取入口において行なわれ、自動車、可搬動力の力強いエンジンのひびきの中に、空高く水の柱が立ち「若あゆおどるふるさと」の、明るい平和きもるもの、消防団歌そのまゝ私たちが「出初式」は盛大に、強く感じさせられました。こうして「出初式」は盛大のうちに幕をとり、消防団にこの大絵巻は、消防団にとつても、私たちにとつても新春第一ページをかざるにふさわしい行事となつていくことと思ひます。

- △越原上区消防後援隊 越原上区消防後援隊
- △岐阜県知事表彰 (副団長) 中島克巳
- △岐阜県消防協会長表彰 (分団長) 田口幸巳
- △郡消防協会長感謝状 五加区消防後援隊
- △郡消防協会長表彰 村雲 (分団長) 村雲
- △郡消防協会長表彰 英男 (分団長) 安江千之 (分団員) 安江茂 (分団員) 今井勝 (分団長) 古田好夫 (分団長) 安江民雄 (分団員) 鈴木泰宏 (分団員) 桂川耕作 (分団員)
- △郡消防協会長勤勞表彰 安江伊雄 (分団長)
- △郡消防協会長勤勞表彰 古田敬司、中島克巳、安江敬一、安江信二

設の諸事業を初めとしたし別教室兼講堂も桜咲く新学期には皆さま方に立派な姿の拡充、林道、農道の新設ならびに延長工事、そのほか橋梁の改良事業等予定計画のとおり順調なる遂行の進みつきありますことは、河田村長の日頃たゆまざる熱意と、村民各位の平素変わらざるご協力の賜に外ならず、この熱意とご協力に對し深甚なる敬意を表する次第であります。とくに多年の分校の統合も新年度には実現する見通しとなり、特

新年あけましておめでとうな安心して生活のできる明るい社会にするためには、終戦後、私たち日本人は苦しい中にも、いろいろ新知識、新しい考え方とつとめるも、また宗教いものものを学びまして、私たちの生活を向上させて住みよい社会を作るために努め力しつづけてきたのでありますが、それらの中で最も私たちの生活に影響を及ぼしたことは、いわゆる民権、努力しなればなら

新年にあたり

東白川駐在所 岩崎正弘

新年あけましておめでとうな安心して生活のできる明るい社会にするためには、終戦後、私たち日本人は苦しい中にも、いろいろ新知識、新しい考え方とつとめるも、また宗教いものものを学びまして、私たちの生活を向上させて住みよい社会を作るために努め力しつづけてきたのでありますが、それらの中で最も私たちの生活に影響を及ぼしたことは、いわゆる民権、努力しなればなら

新年あけましておめでとうな安心して生活のできる明るい社会にするためには、終戦後、私たち日本人は苦しい中にも、いろいろ新知識、新しい考え方とつとめるも、また宗教いものものを学びまして、私たちの生活を向上させて住みよい社会を作るために努め力しつづけてきたのでありますが、それらの中で最も私たちの生活に影響を及ぼしたことは、いわゆる民権、努力しなればなら

- △十年勤続 今井克彦、安江優、村雲、英男、中島清巳、熊崎進、井戸鉄夫、小倉正巳
- △村長感謝状 (越原) 福垣彰
- △団長表彰 安江章三、今井昭、安江要、古田忠、安江忠男、安江隆典、小池健一、今井正男、安江光利、今井貞夫、今井繁次、安江勲
- △安江俊治、安江衛、安江友一、田口重夫、安江守夫、島倉進、安江和彦、山田司郎、安江敏、安江祐之、桂川直衛

いよいよ大人の仲間入り 村の若も20余名

新し権も与えられ、一人前の社
い年を 迎える 若
と、人 義深いものがあると思いま
開かれ ず。今年村の中で成人とな
し、 若ものたちは、約二十名
今年こ ほどいますが、この若もの
そは、 たちがこんごう生活し、
今年こ どういう生き方をして行く
そのの かは現在の日本のあらゆる
意欲を 面において大きな問題とい
もつて えましよう。とくに激しく
すぎ去 変動する社会の動きの中で
つた年 そのシワ寄せをある面では
月を反 真正面に受けているともい
省し、 えるこれらの若ものたちに
健やかに成長してもらいた
いというねがいは、私たち
村民にとつて極めて当然な
ねがいであります。

成人式を迎えて

神土西洞 安倍 徹

「君は来年成人式なんだ
ぜ」人に言われて、あ、
そなんだなあと、自分で
やつと気がつく……
今までのことなどほと
んど考えなかつた。考えた
時は自動車免許を取りに行
つた時くらいのものでつた
しかし、二十年間、この
地球上でご厄介になつたん
だ、と思うと川面に浮か
ぶ落葉のように、たゞ時の
なつて表われ、自分自身に

ところが、これら若もの
たちが自分の生活の中の悩
み、問題、将来のねがいな
どについてどう考え、どう
解決しているか今年めでた
い成人となられた村内の青
年レポートしてもらいま
した。

一社会人として

神土神付 安江 敬次

直に感じるようになった今
自己に対して不満であるば
かりでなく、周囲の環境に
対しても、なんとなく不満
を感じている。
以前「青年期にはとかく
悩みの多い時期なんだ……
それが自己と現実の外部と
のつながりがついてきた時
君たちは自分を認めると同
時に、社会に対しても否定
的でなくなる。本当の意味
で成人するんだ」と言うこ
とを聞いたことがある。そ
の時は気にもとめずいた
が、今考えて見るとたしか
にそうらしい。いや、そう
でなくてはいけないと思
うようになった。いずれに
しても、法的には成人と認め
られても、まだ「弱」と
ころがあるのではないだろ
うか。私たちはその弱点を
一日でも早くカバーし立派
な成人と認められるよう、
努力せねばならない。

昨日の流れは早いもの、
昨日まで子供として生活し
ていた自分が、今日からは
一社会人として生活してい
くのである。おとなになる
こと、人間の栄養成長から
生殖成長に入ろうとしてい
る。僕たちの最大の喜び
である。物事一つ行なうに
してもそれが両親あるいは
先生方のあたゝかい慈愛に
よつて、こゝまで温室の中
の花のように育つてきた。
これまでの恩師の導きでは
忘れることができないし
よう。しかし、これからは
他人にたよることなく、自
分一人の判断と責任で生活
して行かねばならない社会
人としての資格があたえら
れたのである。

村中で成人の門出を祝福

一月十五日は「成人の日」

一月十五日は「成人の日」
です。
「成人の日」は「おとな
になつたことを自覚し、み
づから生き抜こうとする青
年を祝はげます」日(国
民の祝日に関する法律第二
条)として、昭和二十三年
に制定されてから、ことし
で十四年目になります。
この日は、各地でそれぞ
れその地方の特色ある計画
がたてられ、一般の人々も
この「成人の日」の意義を
認め、成人となつた青年に
祝福と激励のことばを寄せ
るの門出として、公民とし
ての権利とそれに伴う義務
を自覚し、かりそめにもこ
の成人式の行事が、華美な
服装を競う場となつたり、
高価な記念品をねだること
村でもこの一月十五日の
成人の日は、氏神に成人に
達した人たちが祈願報告を
行なつてきました。
そして日を改めた五月三
日の憲法記念日には、村が
られております。

あれもしたい、これもし
たいと未知の世界への夢で
いっぱいである。学業時代
から突然荒れ狂う社会に出
された時のあこがれとちが
つて、夢一つにも現実の基
礎にマッチした理想が、成
人式を基に自分の胸にわか
わくと勇気が出てきたよう
な気がします。動搖の激し
い農業に従事して、一
時のあこがれを思うと自分
への哀れさを感じた時であ
つた。しかし、今はちがう
あわれさがこの機に闘志と
なつてきたことは、やらな
ければならないということ
が自覚できたと思う。
僕たちの前途は、明るい
ものばかりではない。が、
何事にもくじけず、一人前

演劇発表会など
新春青年団の行事
昭和三十七年度もあと三
月ばかりで終わりますが、青
年団は次のような行事を計
画準備をすゝめていきます。
一月二十日には白川町との
交換会、そして三月には恒
例の演劇発表会があります
演劇発表会の実施の要項に
ついてはまだ検討中ですが
各分団ではその準備にかゝ
つているようです。昨年に
上成果のある演劇発表会に
したいと皆はりきつていま
すが、人員の減少にもな
つてその負担が大きくなり
劇一つ作りあげるのに昔の
ように手分けして準備をす
るというような訳にはいか
なくなり、困つているのが
現状のようです。しかし、
負担の中にもそれ以上の意
義があることを思えば、い
そんな考えで一生懸命準備
をしています。職場だと
か家庭の中においても、理
解を深めて応援したいもの
です。
人間として先輩の御指導
とともに、東白川村繁栄の
ために頑張りますので皆様
の御指導をおねがひいたし
ます。

3月にはいよいよ完成 待望の東中特別教室

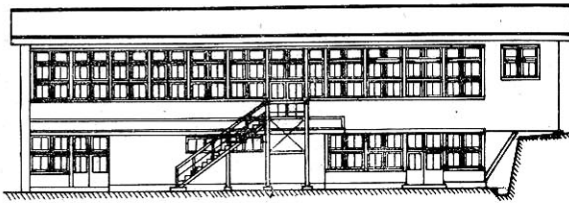
中学教育課程の改正により、技術家庭科の設置など近代科学技術教育の要請に伴って、かねての懸案事業であつた東白川中学校の特別教室新増築工事がいよいよはじまりました。

この工事は、去る十一月二十九日、役場で関係者立会のもとに、建設業者四社による競争入札の結果、地元の株式会社伊藤精材木工所が、工費七七五万円で落札し、十二月七日請負契約を締結、ただちに工事にとりかゝつたものである。

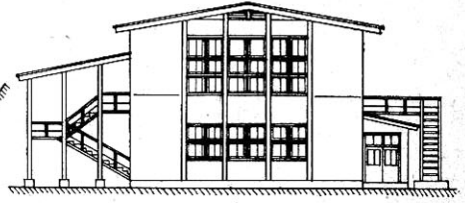
三月末の完成をめざして目下突貫工事が進められています。

なお、この建築設計は愛知県守山市の安藤建築事務所所設計によるもので、下図のような鉄骨造り二階建延一八〇坪のスマートな建物で、階下を特別教室（木工、金工室）にあて、二階

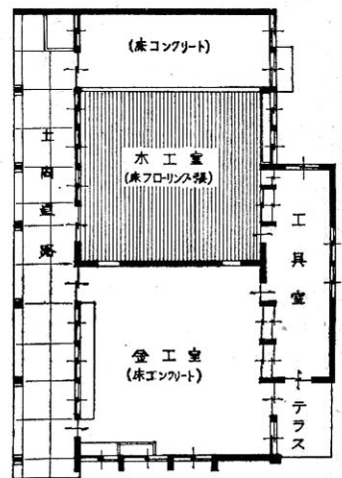
東側面



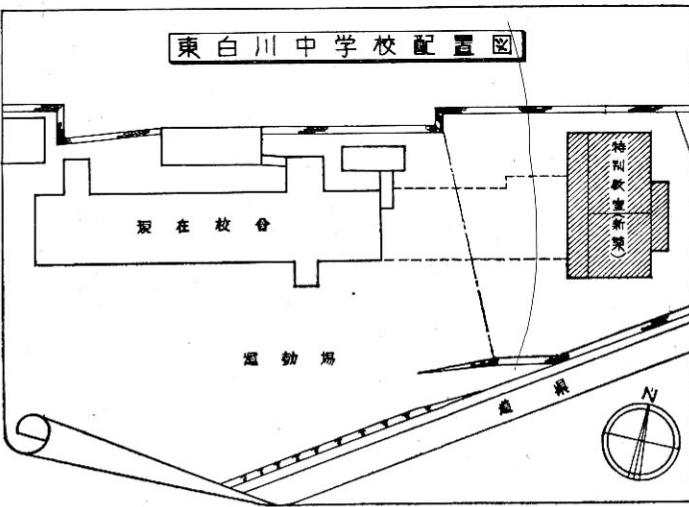
正面



階下平面



東白川中学校配置図



は生徒の全体集会や、室内体育のできるよう、ステール鉄板瓦葺葺となるほか内装も最近流行の建築材に期待がかけられています。

料を使用するなど、新しい設計が加えられており、近代的な建物としてその完成を期がかけられています。

オートバイには

標識をお忘れなく

現在、この村のオートバイ、スクーター（一二五〇以下のもの）の保有台数は、非常な増加を見て四百八十四台（十二月二十一日調）となりました。

文化のすゝむにつれて私たちの身のまわりも、ずいぶん便利になりました。車方、そんな方は今すぐ役場のない時代には、どこへ行くにも時間をかけて歩かなければならなかつたのに、今では、わずかの時間で用をたすことができます。オートバイ、スクーターは今では私たちにとつてなくてはならない足となつて毎日働いています。

標識（かんさつ）なしでは運転できないことはすでに存じのとおりですが、どの付いていない車を時々見かけることがあります。又、他の車につけてある文化のすゝむにつれて私

つた標識をとりはずして新しい車につけて乗っている方、そんな方は今すぐ役場においで標識の交付を受けなさい。

定められた法を守り、盗難から車を守るうえにも大切なことですから忘れないでください。

優等は「おさく号」

村内仔牛品評会開かる

去る十二月十七日、神付十五頭の仔牛が出品され、畜産センター建築予定地にそのほとんどが購入希望者おいて村内仔牛品評会および鞍旋会が開催されました。

これは、東白川村が和牛生産地として優秀な仔牛を村内で生産し、村内の購入希望者に鞍旋しより以上優秀な和牛を生産しようという目的で開催されたもので、当日は村内各生産者より三

に鞍旋されました。なお、当日の品評会において優良仔牛生産者として次の方々が表彰されました

- 優等賞 安江貞夫
- 一等賞 安江 司
- 二等賞 安江竹雄
- 田口鋭雄
- 田口貞治

（編集室）

明けましておめでとございます。

広報「東白川」も満七歳の春を迎え、編集室にある第一号からのつづりも三センチの厚みになるうとしています。七年といえは、人間にたとえると小学校へいよいよ入学という歳ですがこの広報も一年生へ入学するそんな心がまえでいきたいと思ひます。茶色に変色した第一ページからあらためてながめて見ると、年の歩みのごとくという表現方法がピツタリとするようにあまり進歩していないことに苦笑させられました。今年こそは、毎年年の始めには色々と大きな夢をいだくのですが、結局牛の歩みに落付くようです。どうせ落付くのなら今年も牛の歩で地道にポツポツ行きたいと思ひますのでよろしく、こ

- 二等賞 安江忠吉
- 三等賞 早瀬勇三
- 高井 武
- 安江寅彦
- 安江一夫
- 田口伝夫
- 村雲伝三